

## ○スクリー式テークアップ<sup>°</sup>（手動テンション）の調整方法

テークアップは、チェーンの伸びによるゆるみの他、自然状態でもコンベア運転中に次第にゆるんできますので、少なくとも1週間に1度くらいは、ゆるんでいないかどうか調べて下さい。

また、近くに振動源（例えば、不良のプロワー・振動コンベア・プレス）や大型トラックの通行があると、テークアップがゆるみやすいので、頻繁に点検して下さい。軸受が図.2のようにテークアップユニットに当たる（赤マル部）前に、バケット1個分のチェーンの切り詰めが必要です。（軸受とテークアップユニットの間（調整代）が20mm以内になったら、切り詰めて下さい。）

### （調整方法）

- (1) テークアップユニットの側面のカバーを外して下さい。
- (2) ②のロックナットをゆるめて下さい。
- (3) ①の全ネジを左右ともテール側に送り、チェーンの張りを前項「チェーンの張り調整について」に基づき調整して下さい。
- (4) 左右ともチェーンの張り調整が出来たら、②のロックナットをコーナー側端面に締め付けて下さい。
- (5) テークアップユニットの側面のカバーを再び取り付けて下さい。

図.2-2

